

# 日本精神保健看護学会

- The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing -

ニュースレター 第12号  
平成7年1月25日

事務局：

〒150 渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

(理事長：稲岡文昭)

TEL：03-3409-0875

FAX：03-3409-0589

## 「第5回 日本精神保健看護学会・学術集会へのご案内」

本学術集会も今年で早や5回目を迎え、過去4回の会場であった日本赤十字看護大学から、今回は北里大学看護学部に移して開催されることになりました。大都会の真ん中にあった日赤とは異なり、関東平野の西、丹沢の山々を近くに眺める相模の国にあって、いくぶん交通の便には不自由ではありますが、真夏に向かって徐々に暑さを増す季節におきましては、爽涼感あふるる緑に恵まれているところです。

今回は「精神看護の専門性を問う」というテーマです。第1回の「精神看護学への期待」、第2回の「精神看護の過去、現在、未来」と展望し、第3回の「精神看護とチーム医療」、第4回の「精神看護と患者の意志決定」と議論を深めてきました。そこで今あらためて我々の専門性を問い直さなければならないのはなぜでしょうか。

近年保健医療・福祉の分野では、「社会福祉士」や「介護福祉士」の国家資格化に次いで、新たに「心理士」や「精神保健福祉士」の資格化の動きがクローズアップされています。一方看護の領域では、とりわけ精神科で働く看護者の不足、高齢化の問題は深刻化している現状があります。それに加え、新たに資格化されようとしている職種が行う業務には、今まで精神科の看護者が行ってきた役割（保助看法における独占業務）の一部が大なり小なり含まれている可能性が高いのです。マンパワーの充実が歓迎されるべきことですが、看護者が独自性や自律性を含む自らの専門性を考えずにこれを受け入れれば、今までの我々は何をしてきたのか、将来何ができるのかといった看護のアイデンティティを失うことにもなりかねません。

今年は、このような現代の状況を契機にして学会員の一人ひとりが「精神看護の専門性は何か」を明らかにできるような講演やシンポジウムなどを企画しました。本学

会は会員の方々の積極的な参加によって成り立ち、手作りで運営されています。皆様  
お誘いあわせのうえ、一人でも多くの方がご参加下さることを期待しております。

## 第5回 学術集会・総会のお知らせ

1. と き : 平成7年7月1日(土)・2日(日)
2. と ころ : 北里大学看護学部
3. テーマ : 「精神看護の専門性を問う」
4. 日 程 : 「第1日 7月1日(土)」 13:30～17:30

\* 基調講演「精神看護の専門性を問う」

鹿児島大学医療技術短期大学部 柴田恭亮

\* ワークショップ

1) リエゾン精神看護・学習会

2) 体験グループ

3) 地域リハビリテーション看護

4) 「再構成」の方法

5) 臨床における看護研究の糸口 ほか

\* 懇親会(18:00～19:30)

「第2日 7月2日(日)」 9:30～16:30

\* 一般演題発表

\* 総会

\* シンポジウム「精神科看護の危機」

— 関連職種の国家資格化をめぐって —

シンポジスト 看護、OT、PSW、心理、各1名

### 《演題募集》

1. 平成7年2月末日までに同封ハガキにて演題名の申し込み
2. 抄録の締め切りは平成7年3月末日 厳守

### 《申し込み・お問い合わせ》

北里大学看護学部内 日本精神保健看護学会・学術集会事務局

〒228 神奈川県相模原市北里2-1-1

FAX: 0427(78)9428

(お電話でのお問い合わせはご遠慮下さい)

---

## 精神保健活動のご紹介 — 第2回 —

### 特別養護老人ホームでのROについて

特別養護老人ホーム「京都厚生園」では、痴呆症状を有する入所者グループを対象に Reality Orientation (以下、ROと略) が実施されています。またROの理論と実践に関しての手引書となる本も少ないのですが、音楽療法や回想療法などを組み合わせ、検討を重ねながら行われています。月曜から土曜の午後1時半から約50分間、その日のテーマに基づいて実施されます。中でも「いろはかるた」は最も関心のあるものだそうです。それまではほとんど自分だけの世界にいた人もROの時間になると集まってきます。導入後、寮母が「犬も歩けば？」と問うとグループメンバーは「棒に当たる」と元気な声で答えていきます。その時の生き生きとした楽しそうな表情が印象的です。50分間、誰一人その場を離れる人はいません。

ここでのROのねらいは、見当識の低下を防ぎ、寮母や他の入居者との交流を深めることですが、同時に職員の仕事への意欲やチームワークにも大きな役割りを果たしていることを実感しました。私は高齢者ケアに関わってまだ日も浅いのですが、一人ひとりがどんなに年をとっても、いきいき、わくわく共に生きるための精神的アプローチに取り組んでいきたいと思っています。

(滋賀文化短期大学 八田 勘 司)

### 日本看護協会委託研究

日本精神保健看護学会理事会では、昨年10月、日本看護協会から「精神科等領域における看護業務のあり方」に関する研究の委託を受け、特別プロジェクトチームを設け取り組むことになった。本研究の背景には、「臨床心理技術者(仮称)」、「精神保健福祉士(仮称)」の国家資格化にからみ、厚生省は、看護職が従来保助看法に従って行ってきた診療の補助、および療養上の世話という看護の独占業務を解除しようとする動きがあることである。

本理事会としても、精神科看護の専門性を否定する厚生省の動きには危惧するものである。そこで特別プロジェクトチームでは、単に文献や一部の人達の意見にもとづき自分たちに都合のよい結論を導くのではなく、系統的に科学的に現場で働く看護者から直接データを収集・分析し、客観的な結果をもとに精神看護業務の本質を明かにしようとするものである。特に、精神障害者の施設内外で直接看護ケアを提供している精神科看護者およびクリニカル・ナース・スペシャリストの役割と機能の実態、総合病院に勤務する看護者の患者への心理・社会的援助・相談活動の実態、リエイゾン・ナースの役割と機能の実態を明かにしたいと考えている。

調査対象となったときにはお忙しいことと思いますが、確固たる精神看護の専門性を確立するために、ご協力下さるようお願いいたします。

(特別プロジェクトチーム代表者 稲岡 文 昭)

---

## 平成6年度 日本精神保健看護学会委員会委員名簿

委員会	委員名	所属
理事長	稲岡文昭	日本赤十字看護大学
副理事長	中山洋子	聖路加看護大学
企画委員長	池田明子	北里大学看護学部
委員	中山洋子	聖路加看護大学
委員	粕田孝行	長谷川病院
委員	近澤範子	兵庫県立看護大学
委員	小林信	北里大学看護学部
編集委員長	川野雅資	杏林大学保健学部看護学科
委員	横田碧	千葉大学看護学部
委員	岡谷恵子	聖路加看護大学大学院
委員	深澤里子	聖路加国際病院
委嘱委員	北島謙吾	兵庫県立看護大学
委嘱委員	若狭紅子	東京女子医大病院
委嘱委員	岡田佳詠	東京女子医大看護短大
教育活動委員長	岡谷恵子	聖路加看護大学大学院
委員	安藤幸子	井之頭病院
委員	平澤久一	大阪赤十字病院
委嘱委員	久保田加代子	筑波大学付属病院
委嘱委員	辻脇邦彦	東京女子医大病院
委嘱委員	永井優子	千葉大学看護学部
事務局会計	田上美千佳	日本赤十字看護大学
庶務	荻野雅	日本赤十字看護大学
委嘱	桜井敏江	

### 事務局だより

○年会費の納入をお願いします。

平成6年度会費未納の方は、同封しております振込書で至急お納めください。年会費は7,000円、平成4年度分から未納の方は21,000円、平成5年度分から未納の方は14,000円となっております。学会は皆様の年会費で運営されておりますので、何卒宜しく願いいたします。

○学会誌および抄録集のバックナンバーを販売しております。

①送本先の住所、②氏名、③ご希望の巻数、④部数を明記して、事務局宛にお申込下さい。代金は後から請求させていただきます。

定価は学会誌第1～3巻が各1,500円（郵送料は実費請求）、第1～4回学術集会抄録集は各600円（郵送料込み）となっております。